

コンクリート用収縮低減剤（低添加タイプ） 太平洋シュリンテクト

「太平洋シュリンテクト」は、土木・建築構造物における乾燥収縮ひび割れを低減するための、生コンクリートに混和使用する収縮低減剤です。

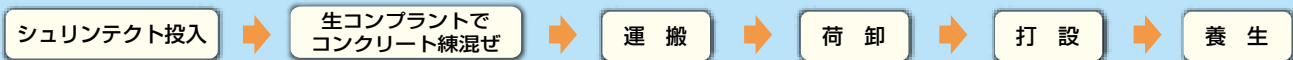
▶ 特 長

- **乾燥収縮を大幅に低減します。**
少量の添加量で乾燥収縮を大幅に低減します。
- **ひび割れの抑制効果に優れています。**
乾燥収縮の低減により、コンクリート構造物に発生するひび割れを抑制します。
- **空気量安定性に優れています。**
空気連行性が安定しており、管理が容易になります。
- **コンクリート用膨張材と併用が可能です。**
無機質のコンクリート用膨張材と併用することで、より大きなひび割れ抑制効果が得られます。
- **使用方法が自由に選択できます。**
ミキサに投入して混練する方法とアジテータ車に後添加する方法、施工条件等により自由に選択できます。

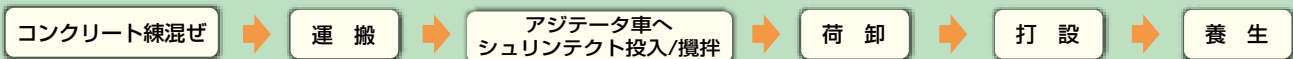
▶ 使用方法

生コンプラントで他の材料とともにミキサに投入して混練する方法、施工現場においてアジテータ車に後添加する方法とがあります。いずれの場合もシュリンテクトは基本的に単位水量の一部として取り扱ってください。

混 練 法



後 添 加 法



▶ 試験成績結果

項 目	品質基準	
塩化物イオン量 (%)	0.05以下	
全アルカリ量 (%)	0.5以下	
フロー値比 (%)	85以上	
凝結時間の差 (分)	始発	120以下
	終結	180以下

※塩化物イオン量、全アルカリ量の試験は、JIS A 6204の附属書に準じた。
※上記以外の試験は、JASS5M-402:2015に準じた。

項 目	品質基準	
圧縮強度比 (%)	材齢 7日	80以上
	材齢 28日	85以上
長さ変化比 (%)	材齢 7日	70以下
	材齢 28日	75以下

▶ 荷 姿

製 品 名	荷 姿
太平洋シュリンテクト	18 kg/缶

▶ 標準使用量

- 2～4kg/m³

▶ 物 性

項 目	品質基準
成 分	ポリオキシエチレンアルキルエーテル
外 観	無色～淡黄色液体
密度 (g/cm ³ 20℃)	1.010～1.030
pH	5.0～7.0

▶ シュリンテクト使用例

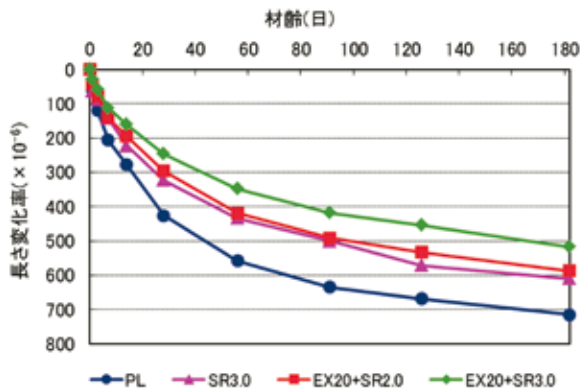
配合表

種類	W/C (%)	s/a (%)	目標スランプ (cm)	目標空気量 (%)	単位量 (kg/m ³)							
					W	C	EX	S1	S2	G	Ad	SR [*]
PL	50	48	18 ± 2.5	4.5 ± 1.5	170	340	—	509	339	924	2.72	—
SR3.0					170	340	—					3
EX20+SR2.0					170	320	20					2
EX20+SR3.0					170	320	20					3

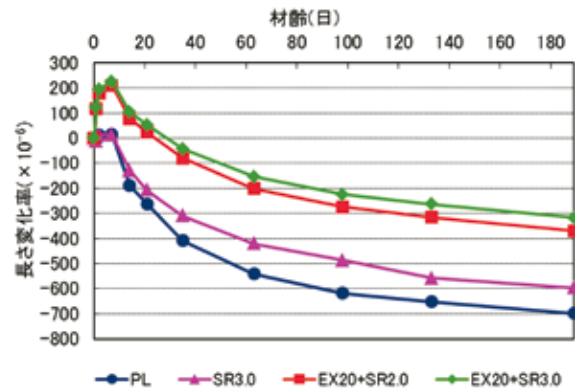
*) 収縮低減剤 (SR) : 配 (調) 合の内割として添加

[使用材料]

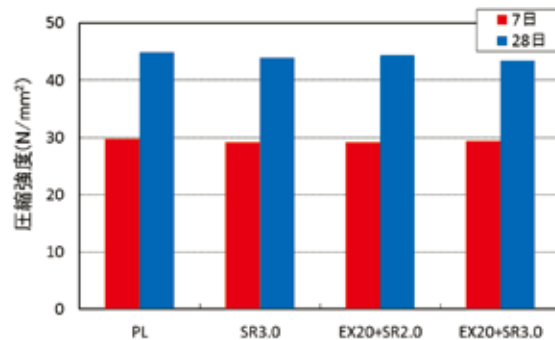
普通ポルトランドセメント (C)、細骨材：陸砂 (S1)、山砂 (S2)、粗骨材 (G)、混和剤：AE減水剤 (Ad)
膨張材：ハイパーエクспан構造用 (EX)、収縮低減剤：シュリンテクト (SR)



使用量と長さ変化の関係 (JIS A 1129)



使用量と長さ変化の関係 (JIS A 6202+JIS A 1129)



使用量と圧縮強度の関係

正しくお使いいただくために

- 銘柄および主成分の異なる収縮低減剤との混合や併用は避けてください。
- 誤って過剰添加した場合には、コンクリート物性に対し悪影響を及ぼすことがありますので、適正な管理のもとで使用してください。
- シュリンテクトは従来の収縮低減剤 (弊社従来品) に比較して空気安定性を改善していますが、シュリンテクトを混和したコンクリートを練り混ぜたミキサーや運搬したアジテータトラックにて、洗浄せずに普通コンクリートの練り混ぜや積み込みを行うと普通コンクリートの空気量が增大することがあります。確認の上、練り混ぜや積み込みを行ってください。
- 洗浄時に泡が発生することがあります。その際は消泡剤を用いて洗浄し、洗浄水は回収水として使用せず廃棄してください。
- シュリンテクトを混和したコンクリートは凍害を受ける恐れがありますので、寒冷地での使用には充分配慮してください。
- 通常の使用では無害ですが、皮膚に付着したり、目に入った場合には、直ちに清水で洗浄し、医師の診断を受けてください。取り扱い時には、保護メガネ、保護手袋等、保護具を着用してください。その他、詳しくは安全データシート (SDS) をご確認ください。

カタログに記載されている諸物性などは、環境条件などによりカタログと異なる結果を生じることがあります。カタログの記載内容は、予告なしに仕様や取扱いを変更することがありますので、ご了承願います。



太平洋マテリアル株式会社

営業本部 混和材営業部

〒114-0014 東京都北区田端6-1-1 田端ASUKAタワー15階

TEL.03-5832-5218

URL <https://www.taiheiyo-m.co.jp>

北海道営業部	〒060-0004	北海道札幌市中央区北4条西5-1-3	日本生命北門館ビル	TEL.011(221)5855
東北支店	〒980-0804	宮城県仙台市青葉区大町1-1-1	大同生命仙台青葉ビル	TEL.022(221)4511
東京支社	〒114-0014	東京都北区田端6-1-1	田端ASUKAタワー16階	TEL.03(5832)5243
中部支店	〒453-0801	愛知県名古屋市中村区太閤3-1-18	名古屋KSビル	TEL.052(452)7141
関西支店	〒532-0011	大阪府大阪市淀川区西中島4-3-2	類ビル	TEL.06(7668)6001
広島営業部	〒732-0828	広島県広島市南区京橋町1-23	大樹生命広島駅前ビル	TEL.082(261)7191
香川営業部	〒760-0050	香川県高松市亀井町7-15	セントラルビル	TEL.087(833)5758
九州支店	〒810-0001	福岡県福岡市中央区天神4-2-31	第2サンビル	TEL.092(781)5331